

第4次地域福祉活動計画 中間まとめシート

基本目標	実施計画	東村山市の状況	成果と課題
ふみだそう お互い様の まちな	①住民活動に参加するきっかけづくりを進めましょう	<p>【社会福祉協議会】 毎年「夏体験Vo事業」を開催(全市) 平成24年度:Vo基礎講座、知的障害を持つ方へのVo講座、夏休み親子教室、災害Vo講座、Voガイダンス(全市) 平成25年度:Vo入門講座、家族で学ぶ防犯教室、Vo講座(知的障害を知ろう)、プラチナ・プラン・カレッジ(全市) 平成26年度:Vo入門講座、Vo講座(発達障害のを知ろう)、プラチナ・プラン・カレッジ2(全市)</p> <p>【地域包括支援センター】 毎年認知症サポーター養成講座を開催(全市) 毎年家族介護者サポーター養成講座を開催(全市)</p> <p>【NPO法人ボランティア協会】 ボランティア手帳の普及(全市)</p> <p>【第四中学校】 生徒のVo活動を推進するために「四中ホリデイネットワーク」が活動中(廻田・多摩湖・諏訪・野口)</p> <p>【化成小学校・白十字ホーム】 化成小学校生徒と白十字ホーム利用者との交流</p> <p>【登録ボランティアグループ】 NPO法人空堀川に清流を取り戻す会 腹話術サークルTAMAチャターズ ウロコの会 エンジェルファーム 西宿人形芝居 ふじみ玉すだれ一座 泉の会 菊地佐吉と青バ太鼓 コーラス「ミルフルール」 切手の会 紙芝居サークル「原っぱ」 きずな 東村山いきいきシニア 民謡サークルみんふる 手話ダンス虹</p>	<p>○社協の「夏体験ボランティア事業」は24年度96名、25年度124名、26年度113名の参加があり、主に小・中・高校生のボランティア体験のきっかけづくりとして機能している。</p> <p>○ボランティアセンターで扱っているボランティア保険の加入者数は、東日本大震災の影響で平成24年度末には4,084名まで増加したが、平成26年度末では3,858名となっている。福祉協力員の人数は、平成24年度末610名→平成26年度末590名とやや減少している。</p> <p>○担い手養成のための講座は参加者が減少し、そのために講座の企画も減ってきている。</p> <p>○地域包括支援センターの認知症サポーター養成講座は各地で積極的に開催しているが、受講者が地域活動の新たな担い手になっているかどうかは不明。</p> <p>○ボランティア手帳は学生の間である程度普及している。ボランティア活動を継続していく意欲を高める効果があると考えられる。</p> <p>○第四中学校の「ホリデイネットワーク」や化成小学校・白十字ホームの「里孫活動」もユニークな取り組みが長期間継続されており、福祉活動へ参加するきっかけづくりとして貴重な取り組みである。</p> <p>○ボランティアグループの活動も、住民が福祉活動へ参加する場を提供しているが、多くのグループは新たなメンバーが増えないことや、グループリーダーの世代交代が課題になっている。</p>
	②住民活動のリーダー育成に取り組ましよう	<p>【社会福祉協議会】 平成24年度:サロン・スタッフ・スキルアップ研修(全市) 平成25年度:ふれあい・いきいきサロンづくり方講座(全市) 平成26年度:サロン・スタッフ・スキルアップ研修(全市)</p> <p>【認知症サポーターフォローアップ講座】 認知症サポーター養成講座受講者のフォローアップ講座を北部包括が開催(廻田町、多摩湖町、諏訪町、野口町)</p> <p>【いきいきシニア】 平成25年度にいきいきライフサポーターカレッジを開催(全市)</p>	<p>○いきいきシニアの「いきいきライフサポーターカレッジ」は、地域のリーダーとして活動するシニア世代を養成しようとするもので、ユニークな取り組みである。</p> <p>○住民活動団体アンケートの結果でも、後継者づくりに関する支援へのニーズは高いが、リーダー育成への取り組みは東村山市全体の動きとしては弱い分野であると思われる。</p>
	③新しい住民活動を広げていきましょう	<p>【東村山市ファミリー・サポート・センター】 おおむね生後2か月から小学校6年生までの子どもの育児支援(全市)</p> <p>【いきいきシニア】 住民によるちょっとしたお手伝い。15分125円。(担い手がいる町)</p> <p>【社会福祉協議会】 福祉協力員による個別支援活動(一部の町)</p> <p>【シルバー人材センター】 会員による家事援助、空き家管理など。1回500円のワンコインサービスも実施(全市)</p> <p>【自治会による活動】 一人暮らし高齢者の見守り、ゴミ捨ての支援</p> <p>【NPO法人等による助け合い活動】 NPO法人ACT(自立援助サービス 全市) ワーカーズまちの縁がわ本町ほっとサービス NPO法人おたすけ小組 NPO法人カルティエおばさん NPO法人子育て支援ネットワークすずめ:子育て支援、一時預かり等(全市)</p> <p>【熊野公園ボランティアの会】 市と協定を結び、公園の維持管理を行いながら住民同士のつながりをつくる(久米川町)</p>	<p>○住民による生活支援活動については、ボランティアから有償の活動まで、様々な主体によって取り組まれているが、実態や実績が掴めていない。</p> <p>○いきいきシニアの「ねこの手」サービスは、担い手が不足しておりニーズに応えきれていない。</p> <p>○熊野公園ボランティアは、新しい住民活動の形として注目される取り組みである。</p>

基本目標	実施計画	東村山市の状況	成果と課題
つくりだそう みんなの思いが伝わるまちへ	④地域の中で誰もが気軽に交流できる機会をつくりましょう	【ふれあい・いきいきサロン】 本町(5か所)、久米川町(3か所)、秋津町(4か所)、青葉町(5か所)、恩多町(5か所)、萩山町(7か所)、栄町(5か所)、富士見町(3か所)、美住町(7か所)、廻田町(2か所)、多摩湖町(3か所)、諏訪町(10か所)、野口町(1か所) 市内合計60か所 【NPO法人等による交流活動】 NPO法人ACT:まちなみ(本町) NPO法人ハナショウブ:コミュニティーカフェ(本町) 恩多稲荷プロジェクト:世代間交流(恩多町) 【コミュニティカフェ等】 おやすみ処「ちょこっと」(本町) ままカフェ(青葉町) 交流基地みっちゃんち(栄町) 【社会福祉協議会】 福祉協力委員会による交流行事(各町) 【お祭り等の地域行事】 神社等のお祭り、自治会・商店会等のお祭り等(実施している町)、町民運動会(各町) 【ふれあいセンター市民協議会】 各種の行事・事業を通じた地域住民によるコミュニティーづくり(久米川町、秋津町、恩多町、栄町、多摩湖町) 【登録ボランティアグループ】 アタッカーズ 花あそび彩 北野のとうちゃんかあちゃん 和太鼓サークル響 アンダンテギターアンサンブル 津軽よされ会 中山みどりアートハウスサークル 大正琴同好会 Sara's mind ふまねっと 切手サロン会 秋津ボランティア・グループ うたごえ広場東村山 飛行船夕食会 ひまわりサロン フラワーズ NPO法人なんでも工房ねこバス	○市民同士の交流を通じてお互いのつながりを深めるための取り組みは、ご近所、町ごと、商店会、全市とさまざまなエリアで多様な活動が展開されている。 ○定期的に開催しているサロン活動などは、見守りや相談といった機能も果たしている。 ○多様な交流活動が活発に展開されているが、こうした取り組みを知らない人も大勢いると思われる。地域の人たちへの広報が課題。 ○このような取り組みを継続させていく、あるいはさらに広げていくためには、担い手、拠点、資金の確保が課題。
	⑤大切な情報が身近な地域で共有できる工夫をしましょう	【社会福祉協議会】 福祉だより、ホームページ、フェイスブック、ツイッター、掲示板、チラシ等による広報 福祉協力委員会によるミニコミ誌の発行(各町) 福祉協力店での情報提供(協力店がある町) 【ふじみ町福祉施設連絡会】 地域と施設の交流を深めることを目的に「ふふふカレンダー」を作成(富士見町) 【老人クラブ】 ミニコミ誌の発行、ホームページによる情報提供(実施しているクラブ) 【自治会】 回覧版、掲示板による情報提供(各町) 【登録ボランティアグループ】 特定非営利活動法人NPOハナショウブ 首都東京ウエストSGGクラブ 東村山市点字サークル虹の会 東村山地球市民クラブ 東村山手話サークル 東村山手話サークルしおり ゆずりは 東村山音訳の会	○紙媒体の広報は、常に「読まれているか？」ということが課題。広報物を渡しながら説明するといった、口コミを合わせて広報することが効果的と思われるが、人手と手間がかかる。 ○地域懇談会から、「すわごよみ」「のぐちのわ」「アミーゴ青葉」といった新しい情報誌が生まれ、富士見町福祉施設連絡会では「ふ・ふ・ふカレンダー」を発行するなど、住民活動団体や地域の福祉施設等の情報が届けられるようになってきている。 ○ホームページやフェイスブック、ツイッターなどの新しい広報媒体は、手軽にタイムリーに情報を発信できるため、活用が進んでいる。ただし、発信する側に知識が必要のため使いこなせる団体には限りがあることと、こうした情報を受け取れない市民も多いことに配慮する必要がある。
	⑥まちをより深く知るための活動に取り組みましょう	【回田小】 3、4年生が子どもの危険個所について市と町歩きを実施(廻田町) 【まち、ひと、認知症 マatchingプロジェクト】 北部包括が呼びかけ、多摩湖町で町歩きを行いキャプション評価を実施(多摩湖町) 【登録ボランティアグループ等】 さつき294 福祉を考える会 東村山観光ボランティアガイドの会 東村山郷土研究会 東村山市「歴史とロマン」市民の会 北川かっぱの会 【NPO法人による活動】 空堀川に清流を取り戻す会	○小学校や自主防災組織などが、町や通学路の危険個所の点検、防犯・防災マップ作りなどに取り組んでいる。 ○さらに多くの町で取り組まれるようにする、町の点検に福祉的な要素を含めていく、多様な世代が一緒に取り組めるようにするなど、活動に広がりや連携が生まれるような方法を検討する必要があるのではないか。

基本目標	実施計画	東村山市の状況	成果と課題
つなごう 力を合わせるまちへ 明日のために	⑦計画を具体化して推進するネットワークを町ごとにつくりましょう	【社会福祉協議会】 地域懇談会の開催(各町)	○地域懇談会の開催状況と今後の方向については、別紙の資料を参照。 ○開催状況が町によって差がある。地域のネットワークは着実に進行しているが、町ごとの具体的な成果が見えてくるのはまだ先になりそう。 ○地域懇談会が一部のみにしか知られていない。
	⑧様々な団体・組織が情報交換できる機会をつくりましょう	【社会福祉協議会】 地域懇談会の開催(各町) ボランティアグループ懇談会(全市) 【市・市民協働課】 よろず交流会(全市) 【地域包括支援センター】 地域ケア会議の開催(各町) 【子育てネットワーク会議】 エリア内の子育て関係団体の情報交換と連携(エリアごと)	○行政や公的な機関が中心となったネットワーク会議は様々なものがあるが、ここでは住民活動団体が参画しているネットワークを取り上げている。 ○13町ごとのエリアでは「地域懇談会」がネットワークの核となりつつあるが、参加してもらう人や団体を広げていくことが課題。
	⑨住民と専門職が連携して住み良いまちづくりを進めましょう	【介護予防大作戦】 住民団体と地域包括支援センター・行政・社協で実行委員会を組織。(各町及び全市) 【地域包括支援センター】 地域ケア会議の開催(各町) 【登録ボランティアグループ】 NPO法人PAGE2 【東村山市内社会福祉法人連絡会】 地域法益活動の検討(全市)	○介護予防大作戦は平成24年度から連続して地域開催と中央開催という形で取り組まれている。住民が主体となって、保健・福祉・医療関係の専門職を巻き込んでいるという先進的な例。 ○NPO法人PAGE2は、メンバーの専門的な知識や技術を行政運営や市民活動に生かそうというグループで、ユニークな活動。 ○地域包括支援センターが開催する地域ケア会議も住民と専門職が連携する場として機能し始めている。 ○東村山市内で事業を実施している社会福祉法人の連絡会が発足し、住民と連携した活動の実施を検討中。

基本目標	実施計画	東村山市の状況	成果と課題
	⑩住民による見守り活動や声かけ運動を広げましょう	【住民の同士の見守り・声かけ等の活動】 本町だいじょうぶだあネット(本町) 久米川小防犯ボランティア(久米川町) 秋津あんしんネット(秋津町) 青葉安心ネット(青葉町) 青葉町子ども見守りネットワーク(青葉町) 恩多見守り隊 萩山町あいさつ・声かけ運動(萩山町) 富士見町セーフティークラブ(富士見町) 廻田町下自治会あいさつ運動(廻田町) 諏訪町ゆっと(諏訪町) 【東村山あんしんネットワーク】 障害を持つ人などのための「ヘルプカード」「ヘルプ手帳」の取り組み 【PTA】 登下校の見守り(実施している学校) 【青少対】 夏祭り巡回・パトロール 【自治会】 防犯・防火パトロール(実施している町) 【老人クラブ】 登下校時や校内の見守り(実施しているクラブ) 各クラブによる友愛訪問事業を実施(各町)	○子どもたちを対象とした見守り活動は、地域のボランティア、PTA、自治会、老人クラブ等で取り組まれてきた。 ○高齢者を対象とした見守り活動は、「諏訪町ゆっと」の活動がきっかけとなり、各町へ波及しつつある。 ○萩山町では早くから「あいさつ運動」に取り組んできたが、見守りの要素も含めた活動へ広がっている。 ○東村山あんしんネットワークは主に障害者分野の見守り活動を地域へ呼びかけてきた。東村山市の活動が東京都全体へ広がった。 ○老人クラブも早くから会員同士の見守り活動(友愛訪問)に取り組んでいる。
ひろげよう あふれるまちへ 優しいまなざしが	⑪子どもたちを地域で育み、子どもの声が響くまちづくりを進めましょう	【NPO法人等による子育て支援活動】 NPO法人東村山子ども劇場:芸術文化体験、自然体験等(全市) NPO法人HUGこどもパートナーズ:居場所づくり、子育て広場等(全市) NPO法人こことぼつけ:ママのリフレッシュ講座、読み聞かせの会 【青少対】 白州山の家一泊キャンプ、環境美化デー、中学生クイズ大会、スーパードッジボール大会、こどもまつり・こども大会、ハイキング、スケートハイク、親子映画会 【青年会議所】 わんぱく相撲東村山場所 【自治会による活動】 子ども絵画展、子ども花火大会(諏訪町自治会) 【老人クラブによる活動】 子どもの手書きポスターによる町内の美化運動(第一永楽会・第二永楽会) 【登録ボランティアグループ等】 おはなしグループ青葉 おはなしグループ「トックのかご」 紙芝居サークル「原っぱ」 東村山うちでのこづち 朗読レッスン 麦の会 がらくた文庫 富士見図書館 友の会 冒険遊び場東村山 松の木子ども会	○子育て支援あるいは子どもたちの健やかな成長を目的とした住民主体の取り組みも、様々な主体により大変活発に行われている。 ○親子が地域で楽しめる活動が増えた。一方で、それらの活動に参加できない親子にとっても住みやすい地域をつくるのが課題。 ○ハンディキャップを持つ子どもたちも、地域で共に成長できるような取り組みを広げていくことが必要ではないか。
	⑫悩んでいる人を独りぼっちにしないまちをつくりましょう	【おきらく相談室】 北部エリア民生委員による月1回の相談会。会場は北部エリアで持ち回り。(廻田町、多摩湖町、諏訪町、野口町) 【登録ボランティアグループ等】 NPO東村山手をつなぐ親の会 NPOけやき:家族のつどい いきいきシニア:ひばりの集い 東村山地球市民クラブ:外国籍市民の支援 家族介護者の会「らくらく」 らっこの会 失語症会話パートナーの会 若竹の子 東村山要約筆記サークルゆいま〜る 東村山市視覚障害者友の会 東村山卒後の居場所準備室 ステップ福祉会 子育てサークルつばめ 東村山難聴者の会「悠々」 家族会むさしの会 【NPO法人等の相談支援活動】 NPO法人市民後見センターいちよう:成年後見制度の利用促進(全市)	○住民による相談支援活動は、障がい当事者による障がい別の相談が多いが、いずれの当事者組織・団体も啓発活動にも取り組んでおり、市民の障がい理解に成果をあげている。 ○北部エリアの民生委員独自の活動であるが、会場が4町持ち回りで、どんなことでも気軽に相談できることが特徴の「おきらく相談室」が開設された。 ○成年後見制度については、東村山市でも平成27年度から市民後見人の養成が始まることになっており、権利擁護に係る相談の担い手としても期待される。 ○市内の社会福祉法人の中には、相談事業の実施や既に開設している相談窓口の充実などについて検討していこうとする動きがあり、地域の相談窓口が広がっていく可能性がある。 ○ご近所同士の関係の中から、支援が必要な人を早期に発見し、適切な機関へつなぐ仕組みをつくるのが今後の課題。

基本目標	実施計画	東村山市の状況	成果と課題
そ な え よ う に 助 け 合 う ま ち へ の 時 に	⑬町ごとに災害時の共助が実践できる体制をつくりましょう	【避難所運営連絡会の設置】 行政、自治会、住民組織の協働により、小中学校ごとに避難所運営連絡会を設置(小中学校ごと) 【自主的・特徴的な防災活動】 自治会・自主防災組織による防災活動(実施している町) 萩山町総合震災訓練(萩山町) 八坂小防災学習:自治会・老人クラブが炊き出しに協力(八坂小学区域) ひかり苑とひばりヶ丘自治会の防災協定(富士見町) 西高防災推進委員会:障害者施設、市、消防署、自治会、高校で構成(富士見町) 【秋津町地域懇談会】 夜の避難所体験(秋津町) 【登録ボランティアグループ等】 東村山災害スタボラ会 東村山市南相馬市支援会 サロンすまいるの運営及び東日本大震災を支援する会	○災害時の備えについては、行政が主導して地域住民の協力を得ながら、「災害時要援護者支援制度」を立ち上げ、各小中学校ごとに「避難所運営連絡会」の設置を順次進めている。行政が実施することで、全市に統一的な仕組みが出来上がることになる。 ○災害時要援護者支援制度においては、日常生活で住民と要援護者との関係づくりをどのように進めるかが課題。 ○避難所運営連絡会については、行政は連絡会設置のおぜん立てはするが、設置後の運営は住民の主体的な活動にまかせられる。連絡会の運営を通じて、常に福祉的な視点から要援護者への配慮がなされるようにすることが必要。 ○東村山市は福祉施設が多いが、施設と地域の防災協定の締結は進んでいない。 ○防災活動も一部の住民しか参加しない地域が多く、いかに関心を高めるかが課題。 ○災害ボランティアセンターは地域福祉センターに設置されることになっている。災害ボランティアセンターの運営をサポートするボランティアグループ「東村山災害スタボラ会」が活動中。災害ボランティアセンターについては、ハード面もソフト面もまだまだ準備不足。
	⑭災害時に避難することが困難な人々への支援体制を整えましょう	【避難所運営連絡会の設置】 行政、自治会、住民組織の協働により、小中学校ごとに避難所運営連絡会を設置(小中学校ごと) 【自治会による特徴的な活動】 自主防災組織の震災訓練に伴う車いす体験(正福自治会) 【東村山市】 災害時要援護者支援制度(全市)	